

血液内科

A) 体制

(ア)理念

血液疾患を有するあらゆる患者様に対して、迅速かつ正確な診断を行い、十分な説明と同意のもと、それぞれの患者様に最善の治療を目指します。

新しい治療法も積極的に導入します。

適応を十分に検討し、造血幹細胞移植を積極的に実施します。

(イ)スタッフ(2024年3月現在)

北野 俊行(きたの としゆき 主任部長)

専門：臨床血液学、臨床腫瘍学

資格等：日本内科学会総合内科専門医・指導医

日本血液学会専門医・指導医・評議員

日本臨床腫瘍学会がん薬物治療専門医・指導医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医

京都大学医学部臨床教授

田端 淑恵(たばた すみえ 副部長)

専門：臨床血液学

資格等：医学博士

日本内科学会認定内科医

日本血液学会専門医・指導医、

日本がん治療認定医機構がん治療認定医

日本造血・免疫細胞療法学会造血細胞移植認定医

坂本 宗一郎(さかもと そういちろう 副部長)

専門：臨床血液学

資格等：医学博士

日本内科学会総合内科専門医

日本血液学会専門医・指導医、

日本がん治療認定医機構がん治療認定医

日本造血・免疫細胞療法学会造血細胞移植認定医

高橋 慧(たかはし さとし 副部長)

専門：臨床血液学

資格等：医学博士

日本内科学会認定内科医

島田 充浩(しまだ みつひろ 医員)

専門：臨床血液学

資格等：ABIM(米国内科専門医)

河崎 直人 (かわさき なおと 医員)

土井 究 (どい きわむ レジデント)

大島 正義 (おおしま せいぎ レジデント)

井手口 耕 (いでぐち こう レジデント)

梅田 隆志 (うめだ たかし レジデント)

羽田 美沙祈 (はだ みさき レジデント)

(ウ)施設概要

- 日本血液学会認定血液研修施設
- 日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本造血・免疫細胞療法学会認定移植施設 (カテゴリー1)
- 日本骨髄バンク非血縁者間骨髄採取認定施設
- 日本骨髄バンク非血縁者間末梢血幹細胞採取認定施設

B) 診療実績 (2022 年)

入院症例数	326 例	のべ 615 回	うち新患	202 例
急性骨髄性白血病		初発	17 例	
骨髄異形成症候群		初発	11 例	
急性リンパ性白血病		初発	1 例	
悪性リンパ腫	初発	51 例		
多発性骨髄腫、類縁疾患	初発	14 例		
成人 T 細胞白血病		初発	3 例	
骨髄増殖性疾患	初発	9 例		
ITP	初発	6 例		
再生不良性貧血	初発	5 例		
その他		85 例		
平均在院日数	19.2 日			

造血幹細胞移植件数	28 件	
自家	16 件	
同種	12 件	
血縁者骨髄		0 件
非血縁者骨髄		2 件
血縁者末梢血		3 件

非血縁者末梢血	1 件
臍帯血	6 件
同種幹細胞採取	
血縁	5 件
バンク	8 件

C) 研究実績

【学会】

- 1 梅田隆志、坂本宗一郎、田邊万璃子、北野俊行、山中諒、濱川 瑤子、福井基成 初診時に間質性肺炎を合併した多発性骨髄腫の1例 第118回近畿血液学地方会(大阪) 2023/5/27(大阪)
- 2 野々原 洋輔、土井 究、坂本 宗一郎、北野 俊行 脊髄障害症状で発症しTBLB(経気管支鏡肺生検)にて確定診断に至った血管内リンパ腫の1例 第119回近畿血液学地方会(大阪) 2023/11/25(大阪)
- 3 羽田美沙祈、井手口耕、田端淑恵、北野俊行 セフェム系抗生剤投与後にPT, APTT 延長をきたした2例 内科学会第241回近畿地方会 2023/9/2(大阪)
- 4 山口悠美、三浦絵梨、北山千里、和泉葵、水瀬茉夕、中田佳奈子、北川佳奈、原美樹子、澤田真里子、田端淑恵、北野俊行 同種移植後外来開設後5年の実績報告 日本がんチーム医療研究会 2023/10/14(大阪)
- 5 June Takeda, Makoto Iwasaki, Junya Kanda, Yasuhito Nannya, Nobuhiro Hiramoto, Tadakazu Kondo, Takayuki Ishikawa, Mitsumasa Watanabe, Yasunori Ueda, Kazunori Imada, Toshiyuki Kitano, Masaaki Tsuji, Yoshitomo Maesako, Satoko Oka, Nobuyoshi Arima, Takashi Miyoshi, Kosuke Asagoe, Mitsuru Itoh, Hirokazu Hirata, Hiroshi Kawabata, Masakatsu Hishizawa, Akinori Maeda, Kazuhiro Yago, Nobuhiko Uoshima, Seishi Ogawa, Akifumi Takaori-Kondo Prognostic classification based on mutation profile in Myeloid Neoplasms with Chromatin-Spliceosome mutations. JSH 国際シンポジウム(筑波) 2023/7/22(筑波)
- 6 竹田 淳恵、岩崎 惇、諫田 淳也、南谷 泰仁、平本 展大、近藤 忠一、石川 隆之、河田 岳人、渡邊 光正、前田 猛、今田 和典、北野 俊行、辻 将公、前迫 善智、岡 智子、有馬 靖佳、三好 隆史、浅越 康助、伊藤 満、平田 大二、川端 浩、菱澤 方勝、前田 明則、野吾 和宏、佐々木 奈々、小川 誠司、高折 晃史 TP53 変異をもつ骨髄性造血器腫瘍における染色体コピー異常の予後に与える影響 日本血液学会(東京) 2023/10/15(東京)
- 7 渡邊 瑞希、岡 知美、諫田 淳也、岩崎 惇、竹田 淳恵、岡 智子、野吾 和宏、山崎 寛章、三好 隆史、平田 大二、前迫 善智、浅越 康助、菱澤 方勝、北野 俊行、田中 康博、渡邊 光正、辻 将公、中坊 幸晴、今田 和典、伊藤 満、川端 浩、川崎 秀徳、越智 陽太郎、南谷 泰仁、小川 誠司、高折 晃史 造血器疾患患者で同定される生殖細胞系列変異の取り扱いにおける課題 日本血液学会(東京) 2023/10/15(東京)
- 8 Xingxing Qi、Testuichi Yoshizato, Yasuhito Nannya, Masahiro M Nakagawa, Ayana Kon, Takuto Mori, Akinori Yoda, Yotaro Ochi, June Takeda, Ryunosuke Saiki, Lanying

Zhao, Torsten Haferlach, Nobuhiro Kanemura, Senji Kasahara, Satoshi Yoshihara, Toshiyuki Kitano, Eva Hellstrom Lindberg, Yasushi Miyazaki, Luca Malcovati, Rena Kamijo, Yukiko Doi, Chantana Polprasert, Kazuma Ohyashiki, Hideki Makishima, Seishi Ogawa Mis-splicing due to somatic U2AF2 mutations in myeloid neoplasms 日本血液学会 (東京) 2023/10/15(東京)

- 9 Rurika Okuda, Yotaro Ochi, Ryunosuke Saiki, Kazuhisa Chonabayashi, Nobuhiro Hiramoto, Masashi Sanada, Hiroshi Handa, Senji Kasahara, Shinya Sato, Nobuhiro Kanemura, Toshiyuki Kitano, Mizuki Watanabe, Yuichi Shiraishi, Mitsumasa Watanabe, Kensuke Usuki, Shinsaku Imashuku, Shigeru Chiba, Nobuo Sezaki, Yasushi Miyazaki, Yoshinori Yoshida, Takayuki Ishikawa, Kazuma Ohyashiki, Yoshiko Atsuta, Yusuke Shiozawa, Satoru Miyano, Hideki Makishima, Yasuhito Nannya, Seishi Ogawa Characteristics and clonal structure of myeloid neoplasms with der(1;7)(q10;p10) 日本血液学会(東京) 2023/10/15(東京)
- 10 林 裕美、山際 岳朗、諫田 淳也、石川 隆之、渡邊 光正、宮原 裕子、宮尾 康太郎、堤 康彦、立花 崇孝、平田 大二、藤原 慎一郎、上田 恭典、片岡 良久、川端 浩、北野 俊行、木村 俊一、横山 洋紀、吉藤 康太、太田 健介、脇田 知志、阪本 貴士、水本 智咲、北脇 年雄、米澤 淳、川上 智也、中川 俊作、谷口 理沙、寺田 智祐、高折 晃史 AML 治療における venetoclax 血中濃度測定の意義 日本血液学会(東京) 2023/10/15(東京)
- 11 岡本吉央、田端淑恵、大島正義、田邊万璃子、河崎直人、高橋慧、島田充浩、稲野将二郎、坂本宗一郎、北野俊行 多発神経浸潤を伴い早期再発した節外性 NK/T 細胞性リンパ腫に対して同種造血幹細胞移植を施行した 1 例 第 45 回日本造血・免疫細胞療法学会総会(名古屋) 2023/2/10-12(名古屋)
- 12 森田真梨、進藤岳郎、家村知樹、新井康之、諫田淳也、上田恭典、安齋尚之、石川隆之、米澤昭仁、今田和典、伊藤満、岡本吉央、池田宇次、赤坂尚司、野吾和宏、渡邊光正、直川 匡晴、竹岡友晴、有馬 靖佳、菱澤 方勝、山下浩平、近藤忠一、高折晃史 血液悪性腫瘍に対する臍帯血移植における HLA エピトープミスマッチの意義 第 45 回日本造血・免疫細胞療法学会総会(名古屋) 2023/2/10-12(名古屋)
- 13 高山祐美、中川佳恵、毎熊由美子、北野俊行 血液腫瘍患者における食事満足度向上に向けた無菌食の提供内容拡充に関する検討 第 45 回日本造血・免疫細胞療法学会総会(名古屋) 2023/2/10-12(名古屋)
- 14 Rurika Okuda, Yotaro Ochi, Ryunosuke Saiki, Nobuhiro Hiramoto, Masashi Sanada, Hiroshi Handa, Senji Kasahara, Shinya Sato, Nobuhiro Kanemura, Toshiyuki Kitano, Mizuki Watanabe, Wolfgang Kern, Maria Creignou, Yuichi Shiraishi, Mitsumasa Watanabe, Kensuke Usuki, Shinsaku Imashuku, Eva Hellstrom Lindberg, Torsten Haferlach, Shigeru Chiba, Nobuo Sezaki, Lee-Yung Shih, Yasushi Miyazaki, Takayuki Ishikawa, Kazuma Ohyashiki, Yoshiko Atsuta, Yusuke Shiozawa, Satoru Miyano, Koichi Matsuda, Hideki Makishima, Yasuhito Nannya, and Seishi Ogawa Clonal Evolution of Der(1;7)(q10;p10) Myeloid Neoplasms 65th ASH Annual Meeting & Exposition

2023/12/11(New Orleans)

- 15 June Takeda, Makoto Iwasaki, Junya Kanda, Yasuhito Nannya, Nobuhiro Hiramoto, Tadakazu Kondo, Takayuki Ishikawa, Mitsumasa Watanabe, Takahito Kawata, Takeshi Maeda, Yasunori Ueda, Kazunori Imada, Toshiyuki Kitano, Masaaki Tsuji, Yoshitomo Maesako, Satoko Oka, Yasuhiro Tanaka, Takashi Miyoshi, Kosuke Asagoe, Mitsuru Itoh, Hirokazu Hirata, Hiroshi Kawabata, Masakatsu Hishizawa, Akinori Maeda, Kazuhiro Yago, Nana Sasaki, Nobuhiko Uoshima, Seishi Ogawa, Akifumi Takaori-Kondo Prognostic Impact of Chromosomal Abnormalities in TP53-Mutated Acute Myeloid Leukemia and High-Risk Myelodysplastic Syndromes 65th ASH Annual Meeting & Exposition
2023/12/11(New Orleans)

【論文】

(原著論文)

- 1 Wada F, *Kanda J, ..., Kitano T, Mild Acute Graft-Versus-Host Disease Improves Outcomes After HLA-Haploidentical-Related Donor Transplantation Using Posttransplant Cyclophosphamide and Cord Blood Transplantation. *Cell Transplant*. 2023;32:9636897231194497. (査読有り)
- 2 Morita-Fujita M, *Shindo T, ..., Kitano T, Epitope Mismatch at HLA-DRB1 Associates with Reduced Relapse Risk in Cord Blood Transplantation for Standard-Risk Hematologic Malignancy. *Transplant Cell Ther*. 2023;29(6):347 e1- e11. (査読有り)
- 3 Iemura T, *Kondo T, ..., Kitano T, Effects of combined test dose and therapeutic drug monitoring strategy in exposure-directed busulfan. *Ann Hematol*. 2023;102(10):2909-22. (査読有り)

(症例報告)

- 1 *Shimada M, Inano S, Kitano T. T-cell lymphoma associated with dupilumab. *Ann Hematol*. 2023;102(6):1601-2. (査読有り)

【研究】

- 1 白血球細胞における HB01 阻害剤、DOT1L 阻害剤、MENIN 阻害剤などの有効性について (高橋 慧)
- 2 ナノポアシーケンサーを用いた急性骨髄性白血病の MRD 追跡 (稲野将二郎)
- 3 多発性骨髄腫の治癒を妨げる細胞分画の同定 (稲野将二郎)
- 4 骨髄異形成症候群の進展における miRNA の関与 (稲野将二郎)
- 5 細胞内蛋白を標的とした分子標的治療の構築 (稲野将二郎)
- 6 網羅的遺伝子検査を血液腫瘍の診療に役立てるための臨床研究 (大島正義、土井究、河崎直人、島田充浩、高橋慧、稲野将二郎、坂本宗一郎、田端淑恵、北野俊行)
- 7 遺伝性造血器疾患に関する遺伝子解析研究 (大島正義、土井究、河崎直人、島田充浩、高橋慧、稲野将二郎、瀧内曜子、坂本宗一郎、田端淑恵、北野俊行)

- 8 造血幹細胞移植の治療成績の解析(大島正義、土井究、河崎直人、島田充浩、高橋慧、稲野将二郎、瀧内曜子、坂本宗一郎、田端淑恵、北野俊行)
- 9 多発性骨髄腫に対する新規薬剤の臨床研究(田端淑恵、瀧内曜子、稲野将二郎、高橋慧、島田充浩、河崎直人、土井究、大島正義、坂本宗一郎、北野俊行)
- 10 骨髄増殖性疾患に対する新規薬剤の臨床研究 (田端淑恵、瀧内曜子、稲野将二郎、高橋慧、島田充浩、河崎直人、土井究、大島正義、坂本宗一郎、北野俊行)
- 11 初発及び再発/難治 Diffuse large B cell lymphoma に対するポラツキシマブの有用性の臨床研究 (大島正義、土井究、河崎直人、島田充浩、高橋慧、稲野将二郎、瀧内曜子、坂本宗一郎、田端淑恵、北野俊行)
- 12 FLT3 阻害薬の臨床研究(大島正義、土井究、河崎直人、島田充浩、高橋慧、稲野将二郎、瀧内曜子、坂本宗一郎、田端淑恵、北野俊行)
- 13 AML におけるベネトクラクス+アザシチジン併用療法の有用性の検討(大島正義、土井究、河崎直人、島田充浩、坂本宗一郎、田端淑恵、北野俊行)
- 14 ベネトクラクスの体内動態の研究(田端淑恵、北野俊行)
- 15 慢性活動性 EB ウイルス感染症に対する同種移植の有効性の検討(瀧内曜子、北野俊行)
- 16 ランゲルハンス組織球症の臨床研究(田端淑恵)
- 17 HLA1 座不適合非血縁者間骨髄移植における従来型 GVHD 予防法と抗ヒト胸腺細胞免疫グロブリン併用 GVHD 予防法の比較研究(北野俊行)
- 18 HLA 半合致移植の臨床応用(大島正義、土井究、河崎直人、島田充浩、高橋慧、稲野将二郎、瀧内曜子、坂本宗一郎、田端淑恵、北野俊行)
- 19 リンパ腫様肉芽腫症の病態、治療に関する検討(土井究、田端淑恵)
- 20 POEMS 症候群の自家移植とその後の経過(田端淑恵、瀧内曜子、稲野将二郎、河崎直人、北野俊行)
- 21 再発難治低悪性度リンパ腫での、ベンダムスチン・リツキシマブ併用療法の予後因子の探索(北野俊行)
- 22 中枢神経原発悪性リンパ腫における新規バイオマーカーの同定 (岸本渉、北野俊行)
- 23 活性化型 KRAS の特異的分解による膵癌新規治療法を創る(科学研究費助成事業 2022-2024 年度 若手研究)(稲野将二郎)
- 24 MLL 関連白血病に対する MLL 特異的分子標的薬の synergistic effect の有無の解明(高橋慧)
- 25 タンパク質分解系を利用した神経変性疾患の病態解明と治療法の探索(科学研究費助成事業 2023-2024 年度 挑戦的研究萌芽(分担))(稲野将二郎)
- 26 神経変性疾患原因タンパク質の効率的な除去方法の探索(AMED 創薬支援推進事業・創薬総合支援事業 2023-2024 年度)(稲野将二郎)